

関係各研究機関の長 殿

東京大学地震研究所
所長 佐竹 健治

2020年度(第2回)大型計算機共同利用公募研究の公募について(通知)

このことについて、下記のとおり公募いたしますので、貴機関の研究者にこの旨周知くださいますよう、お願いいたします。

記

1. 公 募 事 項 (公募要領を参照)
 - (1) 大型計算機共同利用公募研究
2. 応 募 資 格： 申請、及び研究組織へ参加できるのは、国内外の大学、国・公立研究機関の教員・研究者又はこれに準じる者(名誉教授・大学院学生・財団等民間団体や企業の研究者)とします。学生の扱いについては「12.注意事項(5)」を参照してください。
※若手研究者の積極的な応募を歓迎いたします。
3. 申 請 方 法： 共同利用 HP (<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kyodoriyou/>) にある所定の様式に必要事項を記入のうえ、Web 申請システムを使用し、申請してください。
Web 申請システム：<https://erikyodo.confitec.atlas.jp/ja>
操作方法は下記、共同利用 Q&A「よくある質問と回答」よりご参照ください。
共同利用 Q&A：<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kyodoriyou/qa/>
4. 研 究 期 間： 2020年採択日から2021年3月末まで
5. 審査の方針： 本研究所の共同利用委員会では、提出された申請書を審査し、採否を決定します。研究計画の内容が共同利用の趣旨に沿っていることが重要です。また、本研究所との研究活動の関連性、施設・装置・データとの関連性も審査の対象となります。各種の専門分野の研究者からなる委員全員で審査しますので、その点を意識した申請書の作成をお願いします。
6. 申 請 期 限： 2020年5月22日(金)【厳守】
7. 郵送提出書類： 以下(1)(2)の書類について、提出時期は、申請後2週間以内となります。提出先は、本研究所の研究支援チーム(共同利用担当)宛、住所は、本通知の末尾に記載してあります。
 - (1)所属機関長等の承諾書(様式 N-1)：
対象は、研究代表者及び研究組織に記載の研究者等全員です。また、研究課題毎に提出が

必要です。異動等があった場合は、変更届と新しい所属機関長の承諾書を速やかに再提出してください。なお、地震研究所に所属している方は提出は不要です。

(2)研究倫理に関する誓約書(様式 N-2) :

「私、」以降の欄に必ず、氏名を自著していただき、原本を郵送してください。

対象は、研究代表者及び研究組織に記載の研究者等全員です。また、東京大学に所属している方及び今までにご提出いただいた方は、提出は不要です。

8. 採否の決定: 共同利用の採否は、本研究所の共同利用委員会が決定します。採否の決定は、2020年7月末までに行われ、審査結果を研究代表者(及び所内担当教員)あてに通知します。

9. 所要経費: 大型計算機共同利用公募研究については、予算の配分はありません。

10. 謝辞等の記載: 本研究所の共同利用で行われた研究に関する論文等を発表する場合は、謝辞に東京大学地震研究所共同利用により援助を受けた旨を記載することが、義務となります。また、その別刷やデータ(PDF、配布元 URL 情報でも可)などを、本研究所の研究支援チーム(共同利用担当)へ必ず提出してください。

※Acknowledgment(謝辞)に、地震研究所より助成を受けた旨を記載する場合には「ERI JURP 20XX-X-XX の課題番号」を必ず含めてください。

(記載例:課題番号「2009-A-01」)

【英文】:This study was supported by ERI JURP 2009-A-01.

【和文】:本研究は東京大学地震研究所共同利用(2009-A-01)の援助を受けました。

また、本公募研究に関する論文等を発表する場合には、情報基盤センターへの謝辞についても、記載してください。

(記載例)

【英文】:This research was conducted using the Fujitsu PRIMERGY CX600M1/CX1640M1 (Oakforest-PACS) in the Information Technology Center, The University of Tokyo.

11. 宿泊施設: 本研究所には宿泊施設がありませんので、各自用意してください。

12. 注意事項: (1) 施設等の利用にあたっては、本研究所の規程、その他関係法令を遵守するとともに、管理・安全のために発する所長の指示に従っていただきます。

(2) 研究の実施、設備などの利用については、所内担当教員と十分に連絡を取り、かつ、本研究所の関係する教員の指示に従ってください。

(3) 本学以外の共同利用者が研究を遂行する際に生じた損失、損害に関しては、原則として各所属機関で対応するものとし、本学は一切の責任を負いません。

(4) 本共同利用によって知的財産を創出した場合は、出願等を行う前に所内担当教員、及び研究組織に記載された全研究者へご連絡ください。併せて、所属機関の知財担当部署への連絡もお願いいたします。権利の持ち分、出願手続き等については協議の上、

決定いたします。

- (5) 大学院学生が参加する際には、指導教員の許諾及び承諾書の提出が必要です。また、学部学生が研究者として参加することは原則として認めません。ただし、研究代表者の申請により、学部学生も「研究補助者」として、研究組織に記載された研究者への、研究支援・補助業務を行えるものとします。学部学生を「研究補助者」として研究組織へ追加したい場合には、当該者の承諾書(誓約書は不要)を用意し、下記の研究支援チーム(共同利用担当)へご連絡ください。
- (6) 共同研究についての報告書は、地震研究所共同利用 HP に掲載いたします。
- (7) 参加者の個人情報を取得される際は、地震研究所へ提出する報告書へ記載されること、及び、地震研究所の成果報告に、個人が特定されない形で、参加人数が利用されることを伝え、承諾を得る等の、個人情報保護法に則った手続きをしてください。
- (8) 第2回の公募については、計算時間の割り当てに若干の余裕が見込まれる場合にのみ、実施されるため、毎年度必ず実施するものではありません。
- (9) この他、公募に関するお問い合わせは、下記の研究支援チーム(共同利用担当)へお願いします。

【各種提出先、問い合わせ先】

〒113-0032 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学地震研究所 研究支援チーム(共同利用担当)

電話: 03-5841-1769, 5710

FAX: 03-5689-4467

E-mail: k-kyodoriyo@eri.u-tokyo.ac.jp

公 募 要 領

地震研究所においては、全国の地震・火山の関連分野の研究遂行に資するため、各種共同利用・共同研究の制度が設けられております。

以下の記載事項をご参照のうえ、期日までに共同利用 Web 申請システムにて申請してください。

Web 申請システム: <https://erikyodo.confite.atlas.jp/ja>

操作方法は下記、共同利用 Q&A「よくある質問と回答」よりご参照ください。

共同利用 Q&A: <http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kyodoriyou/qa/>

本公募要領をはじめ、各種様式は共同利用 HP <http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kyodoriyou/>に掲載しております。

なお、共同利用・共同研究に申請される場合は、事前に本研究所の関連する教員と打ち合わせを行った上で申請してください。

1. 共同研究

(1) 大型計算機共同利用公募研究:

地震・火山・防災の関連分野では、大量のデータを用いたり、大規模計算を実施するといった大型計算機を利用しなければならない研究分野が増えてきました。しかし、大型計算機は、限られた資源であり、広く一般的に利用できる状況には至っていません。そこで地震研究所では、2020 年度より、地震・火山・防災の関連分野の研究遂行に関わる大規模計算を行う研究課題(以下地震火山防災研究)を公募しております。

戦略的公募研究として、以下に示す(1)大規模シミュレーション研究または(2)データサイエンス研究への参加を希望する研究者を募集するとともに、一般課題研究として、地震火山防災研究に関わる課題を公募します。なお、地震火山情報計算機システム(以下 EIC システム)は本共同利用とは別に随時ご利用いただけますが、大規模計算を実施予定の方は本公募に申請応募してください。また、申請内容により、EIC システムのご利用をお勧めする場合があります。

審査の重点: 提出書類を基に審査を行い、採否を決定します。特に、大規模計算であるかどうかおよび地震火山防災との関連性を重視します。

研究期間: 研究期間は 2020 年採択日から 2021 年の 3 月末までとします。

研究費: 旅費等の経費は配分しません。東京大学情報基盤センターの Oakforest-PACS システムにおけるトークン(公募研究全体で、400 ノード、400TB 程度)を本研究所が負担します。なお、利用者の利便性向上のため、Oakforest-PACS のトークンを Reedbush システムのトークンに振り替えて Reedbush システムを利用することについても、協議しています。Reedbush システムについては、利用できない可能性もありますので予めご了承ください。なお、Reedbush システムを利用できる場合でも、トークンの換算率は 1 対 1 ではないことなどに注意してください。

申請書記入上の注意点: 一般課題研究については、地震研究所の所内担当教員として 1 名以上の記載が必要です。申請 1 課題あたりの希望計算資源量の目安を 17 万ノード時間とします。また、17 万ノード時間を超える計算資源量を希望する場合には、大規模計算のこれまでの実績の具体的な内容について、17 万ノード時間を超える理由と関連させながら、必ず記載してください。また、10 名以上の研究分担者がいる場合には、Oakforest-PACS あるいは他のシステム(EIC システムを含む)での大規模計算の実績の具体的な内容につ

いて、各分担者の実績・役割と関連させながら必ず記載してください。なお、計算ノード時間や並列ファイルシステム使用量については、審査のうえ、配分されます。特に並列ファイルシステム使用量については、配分される計算ノード時間に基づき配分することを予定しているため、必ずしも希望に添えない可能性があることを予めご了承ください。

戦略的公募研究への参加を希望される場合は、様式 S-1 を、一般課題研究に申請される場合には、様式 S-2 を提出してください。また、いずれの場合も、別紙 研究分担組織詳細を併せて提出してください。

大型計算機共同利用公募研究委員会の審査に基づき、本研究所の共同利用委員会が採否を決定します。研究代表者は、研究期間終了後 30 日以内に報告書(様式 S-3)を、Web 申請システムにて提出してください。

(1) 大規模シミュレーション研究(所内担当教員:古村孝志教授)

数値シミュレーションに基づく地震動・津波・火山噴火等の現象の解明および災害軽減・災害予測に挑む研究を募集します。例えば、差分法・有限要素法・粒子法などを利用する大規模計算研究課題など。

(2) データサイエンス研究(所内担当教員:鶴岡弘准教授)

地震・火山・防災に関連した大量のデータから、情報、法則、関連性などを導き出す研究を募集します。例えば、テンプレートマッチング法による震源決定や衛星画像からの地表変位を推定する研究課題など。